



地域で一番身近で 愛される企業へ



2018年7月31日
ヤマト運輸株式会社



企業紹介

会社の沿革



三越を中心とした 区域事業の時代 (創業)

- 1919年(大8)
大和運輸設立
- 1923年(大12)
三越呉服店の
商品輸送契約



第1の イノベーション

路線事業と 「輸送のデパート」 の時代

- 1929年(昭4)
東京～横浜間で
定期便開始
- 1951年(昭26)
航空代理店業開始



第2の イノベーション

宅急便の開始と 市場開発 の時代

- 1976年(昭51)
宅急便事業開始
- 1997年(平9)
全国ネットワークの完成



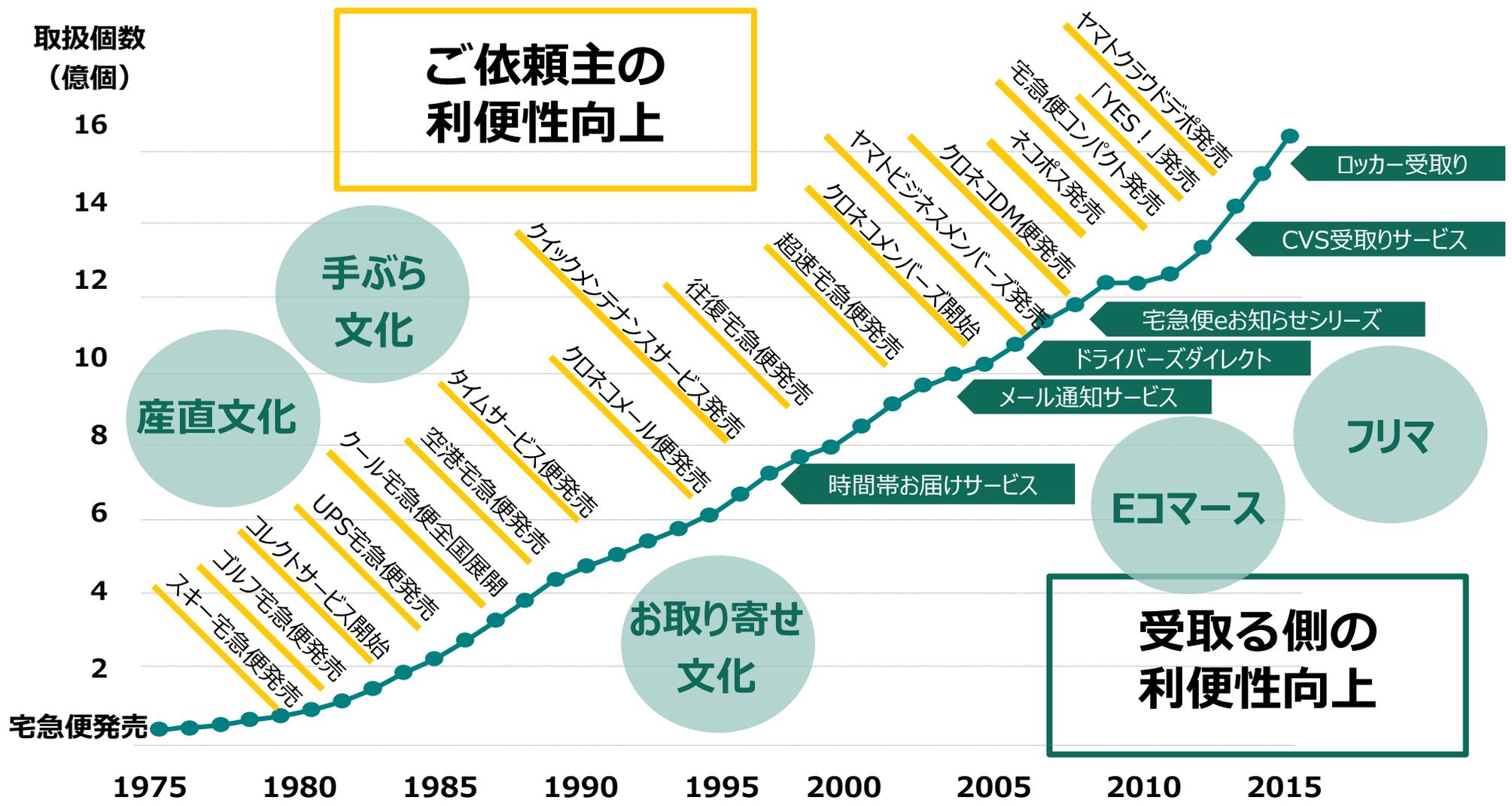
第3の イノベーション

グループ経営 の時代

「バリュー・ネットワーキング」構想

- 2005年(平17)
持株会社制に移行
- 2010年(平22)
アジアでの宅急便事業を開始
- 2013年(平25)
羽田CG・厚木GW・沖縄国際物流ハブ
- 2016年(平28)
中部GW
- 2017年(平29)
関西GW

宅急便による価値創造の歴史



ヤマトグループ環境保護宣言「ネコロジー宣言」

2003年 「環境保護宣言」を制定

2012年 「ネコロジー※」の理念を制定



※ヤマトグループの
環境保護活動の総称

2014年 「環境保護宣言」を改定

ネコロジーの理念を踏まえて、環境保護活動を4つの分野に分類し、社員一人ひとりが取り組むべき具体的な活動を明示した

輸送のエコ

環境にこだわった輸送を実現します

施設のエコ

施設の省エネ化を推進します

商品のエコ

環境配慮商品の展開をします

地域とのエコ

地域の皆様と環境コミュニケーションを強化します

ヤマトグループ



ネコロジー宣言

わたしたちヤマトグループは、企業の社会的責任である環境保護活動を「ネコロジー」と総称し、環境を意識した事業活動とともに、社員一人ひとりが常に環境保護の意識を持って、日々の各業務に取り組みます。輸送の「込む」「運ぶ」「届ける」はもちろんのこと、その他のさまざまな取り組みを徹底的にエコロジー化して、環境にやさしい物流の仕組みを築きます。このような商品・サービスの提供を通じ、地域と共によりよい社会作りに貢献する企業を目指します。



① 環境にこだわった輸送を実現します

1. 社員一人ひとりが、日々エコドライブを実践します。
2. 低公害車の購入や公道、新スリッターなどを使った集配により、CO₂などの排出ガスの削減を図ります。
3. 他社との共同運行や電車、船などを使ったモーダルシフトの推進により、輸送の効率化を図ります。



② 施設の省エネ化を推進します

1. 社員一人ひとりが、エネルギーを大切に、省エネ活動を実施します。
2. 自然の力を活用し、施設の省エネ化を推進します。
3. グリーン購入やリサイクル、ペーパーレス化などを推進し、ゴミの排出量を減らします。



③ 環境配慮商品の展開をします

1. リターナブル資材など環境配慮商品を開発・推進します。
2. 業務の効率化を提案し、お客様の省エネに貢献します。



④ 地域の皆様と環境コミュニケーションを強化します

1. 地域社会の一員として、地域の環境保護活動に参加します。
2. 環境教育などを通じ、環境の大切さを伝えます。

「輸送のエコ」に関する取組

輸送のCO2削減3原則

〈使わない〉

車両の使用を抑えて
CO2排出量を削減する



〈使うならエコ〉

使用する車両を
低公害車へシフト



〈使い方〉

ドライバー一人ひとりが
エコドライブを意識



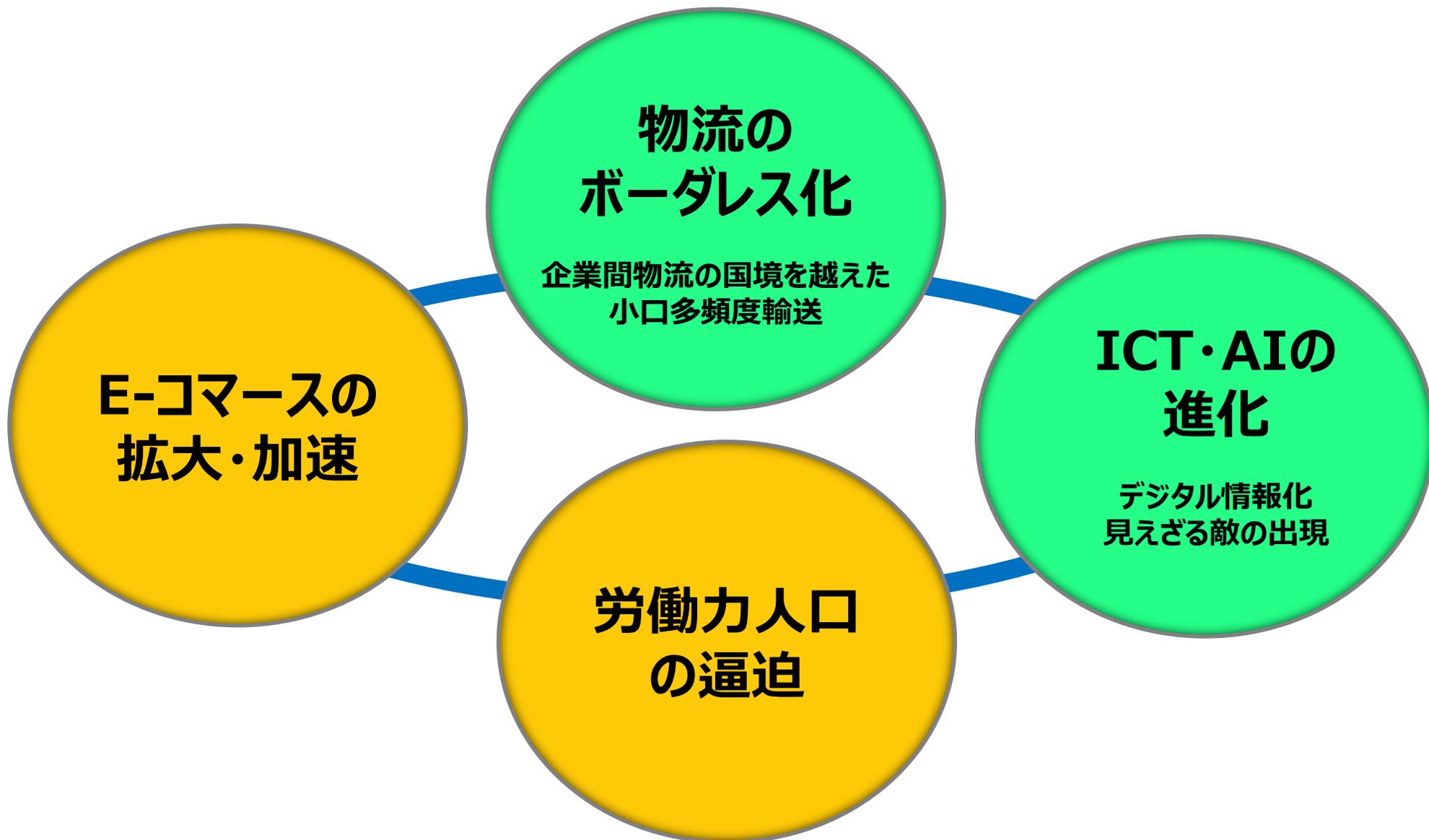
日々の集配業務の中で各自が環境保護を意識して、
環境負荷をなるべく小さくする工夫をしている



物流業界を取り巻く環境変化と

私たちの取組

外部環境の変化



取組①：ITを活用した業務効率化の取り組み

出荷予定データ

法人顧客データ

過去の配達実績
SDの経験値

コールセンター
受電データ



最適化された集配ルートを設定
⇒業務効率化を実現

配達データベース

- お客様基本情報
 - ・住所 ・郵便番号
 - ・氏名 ・電話番号
- お客様属性情報
 - ・お客様のご要望
 - ・過去の集配実績の蓄積

メリット

- ・不在率の低下 ・生産性の向上
- ・顧客満足度の向上 ・CO2削減



お客様情報の可視化
⇒お客様のニーズに合う
配達を実現

より高品質な配送サービスの実現

取組②：ITを活用したコミュニケーションチャネルの拡大

【不在配達削減によるCO2削減】

ITを活用したお客さまとのコミュニケーションにより、
受取人様それぞれのご都合に即した日時・場所へお届け



①お届け通知のご案内 (プッシュ通知・eメール)

②モバイル・PCから日時・場所を指定

③受付完了のご案内

④ご依頼の日・時間帯・場所にお届け



ご不在の
場合

ご不在通知をご案内し、
ご都合の良い日時・場所にお届け



ご自宅



ヤマト運輸
営業所



コンビニ



ロッカー
など

取組③：オープン型宅配便ロッカーの取り組み

【不在配達削減によるCO2削減】

◆PUDOステーション

- ・複数の宅配事業者が利用可能なオープン型宅配便ロッカー
- ・2016年7月より設置開始
- ・**佐川急便、DHLなどが利用**

2018年4月現在
約3,000台設置



2022年
目標設置台数
5,000台



お客様のメリット

「受け取りたい時間」に
「受け取りたい場所」で受け取れる

宅配事業者のメリット

- ・配達生産性を高め、収益性が向上
- ・事業者各社が別々に設置する社会的なムダを削減

取組④：近未来に向けて取り組み ロボネコヤマト

【不在配達削減及びEVによるCO2削減】

自動運転社会を見据えた次世代物流サービスの実現を目指す 「ロボネコヤマト」プロジェクト



目的

：自動運転社会を見据えた非対面配達の実証

実施事項

- ・スマートフォンアプリで指定した場所時間にお届けする。
- ・時間は10分単位で指定、売り切れあり。
- ・暗証番号またはバーコードにて荷物を自分で取り出す。





**地域との連携による
新たな共創価値**

取組①：藤沢SST（サステナブル・スマート・タウン）

- ヤマト運輸は参画事業者と共同して、「物流の効率化」と「サービスの向上」を実現するために、「宅配便の一括配送」を平成28年11月より開始する。
- 国土交通省は、平成28年10月25日付けで改正物流総合効率化の規定により総合効率化計画として認定。

実施地域概要

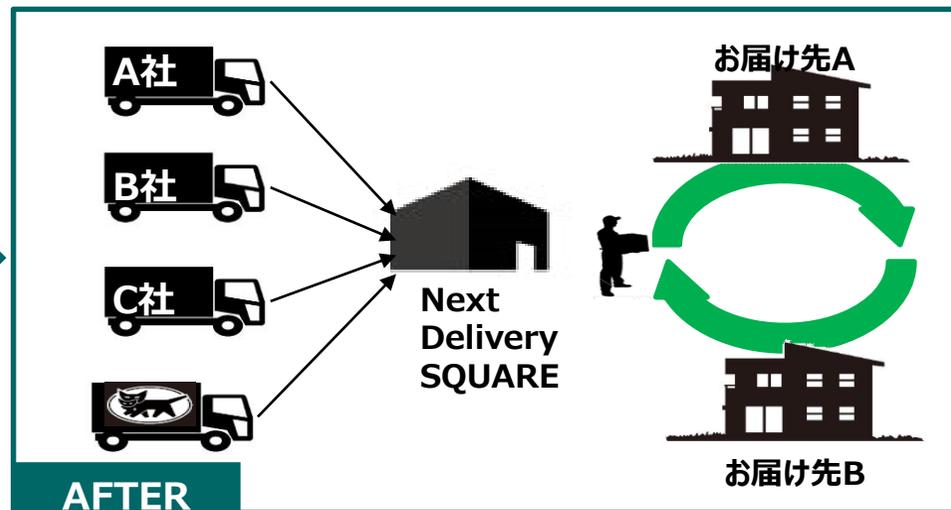
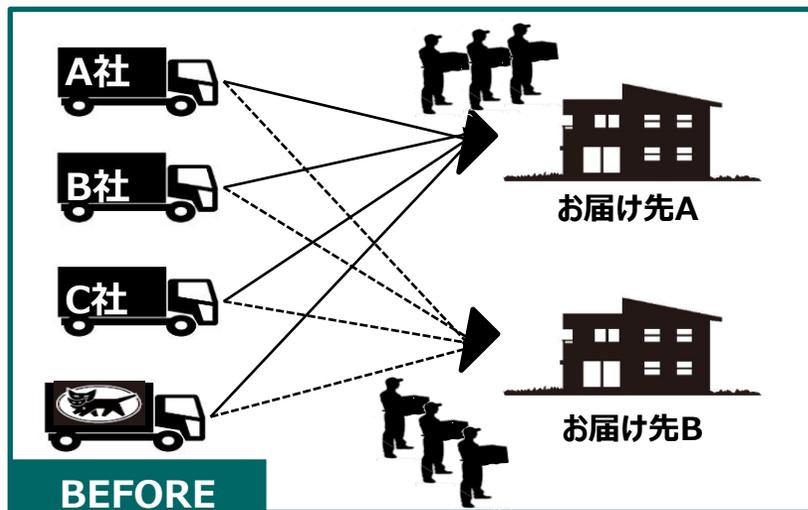
藤沢SST：計画面積19.3ha

住宅	（戸建600区画 集合住宅 400戸）	16.3ha
商業施設	1.1ha	福祉・教育等 1.0ha
公益施設	0.9ha	

■ 街区・施設マップ



一括配送について



< 協力運送会社一覧 >

- ・西濃運輸株式会社
- ・第一貨物株式会社
- ・トナミ運輸株式会社
- ・新潟運輸株式会社
- ・日通トランスポート株式会社
- ・福山通運株式会社
- ・名鉄運輸株式会社
- ・佐川急便株式会社

※日本郵便株式会社は湘南T-SITE館内物流のみ実施済み



取組②：客貨混載による地域交通の維持支援

- ・ バス路線の路線網維持と物流効率化による「客貨混載」を実施
- ・ 地域住民の生活基盤の維持・向上に寄与

サービス実施概要

【展開】

H27 国際交通安全学会賞（業務部門）受賞

岩手県・宮崎県・北海道・熊本県など順次拡大

宮崎県では、保冷専用BOXの搭載や日本郵便との共同輸送も実施

【取り組みの目的】

1. バス路線の生産性向上
2. 物流の効率化・CO2排出量の低減



モデルケース 宮崎県西米良村の事例

宮崎県西米良村

人口1,240人

面積271.6km²

平均年齢 54.8歳

人口密度 3.93人/km²

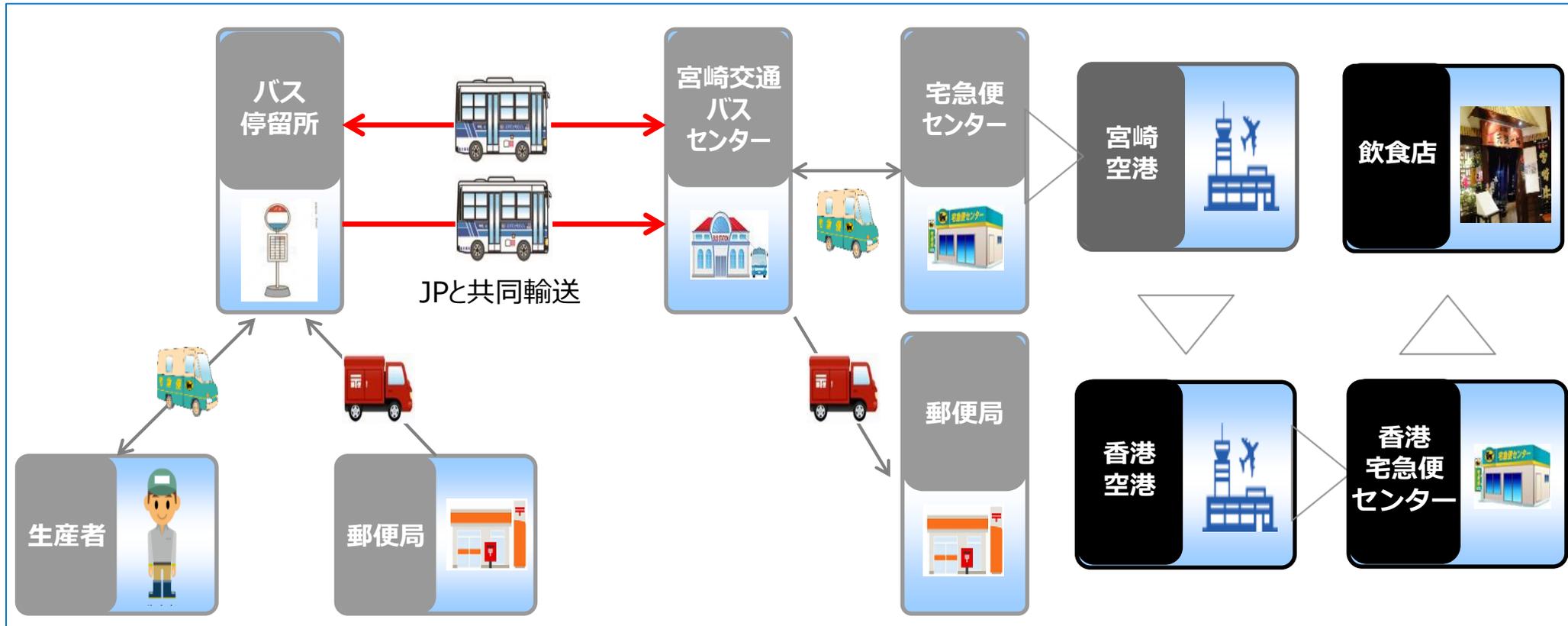
地域課題：

- ① 地域の人と物の流動減少にともなうインフラ維持が困難。
- ② 地域産品の販路を拡大したい



客貨混載のプラットフォームを海外向け輸送に活用

生活のための人と物の流れにおけるインフラ安定+販路拡大（海外輸出：2017年9月スタート）



**地域で一番身近で
愛される企業を目指して**



ご清聴ありがとうございました。